

ひょうご部落解放・人権研究所

研究所通信

編集・発行 /

社団法人 ひょうご部落解放・人権研究所

〒 650-0022

神戸市中央区元町通 6-7-10

元町関西ビル 4 階

TEL:078-367-8925 FAX:078-367-8924

e-mail:blrhyg@osk3.3web.ne.jp

URL:http://www3.osk.3web.ne.jp/~blrhyg/

発刊にあたって

社団法人ひょうご部落解放・人権研究所では、4月5日の第38回定期（2008年度予算）総会で、2008年度の事業計画と予算を決定しました。研究所が多くの人に利用され協力を得て存在感を示すことが出来るように、事業の拡大と活動の強化をはかることにしています。

その一つとして、今年度から「研究所通信」を3カ月に1度、年4回程度発行することにしました。

この通信では、研究所が発行している機関誌「ひょうご部落解放」（春・夏・秋・冬の年4回）の掲載記事ではカバー出来ない面を補うことや、機関誌ではお知らせすることが出来なかった、研究所の人権セミナーや人権問題講座の開催案内、他団体の人権に関するイベント紹介、新資料や図書の紹介、ミニコミなど、工夫

を凝らして、通信を手にした人が「読んでみたい」と思われる内容にしていきたいと考えています。

創刊号は、第38回定期総会の報告をメインにしました。それは、出来るだけ多くの人に研究所の1年間の事業を知っていただき、研究所の利用や協力を、お願いしたいからです。

研究所は、その名の通り、部落差別の撤廃とあらゆる人権侵害を無くするために、研究者の人達の協力を得ながら、運動団体の糧となる事業や活動をすすめます。

ぜひ、研究所をご活用いただくとともに、会員拡大にもご協力いただきますよう、願います。

事務局長 竹本貞雄

3月の新着図書

- 『満州「被差別部落」移民—あの南天の木はまだあるか』（麻野涼著、彩流社、2007.12.20）
- 『ひげがあろうがなからうが』（今江祥智作、田島征三絵、解放出版社、2008.1.15）
- 『大阪の子どもたち—子どもの生活白書 2007 年度版』（大阪府人権教育研究協議会、2008.9）
- 『裁判の中の在日コリアン—中高生の戦後史理解のために』（在日コリアン弁護士協会編著、現代人文社、2008.2.17）
- 『水平社創立の研究』（鈴木良著、部落問題研究所、2005.11.15）
- 『男たちの宝塚—夢を追った研究生の半世紀』（辻則彦著、神戸新聞総合出版センター、2004.12.7）
- 『融和運動史研究』（中村福治著、部落問題研究所、1988.3.31）
- 『一徹者の部落差別との闘い』（西田秀秋著、神戸新聞総合出版センター、2004.12.18）
- 『大本襲撃—出口すみとその時代』（早瀬圭一、毎日新聞社、2007.5.23）
- 『こころに咲く花』（兵庫県人権啓発協会、2008）
- 『部落の歴史と解放運動 前近代篇』（部落問題研究所編、1985.12.10）
- 『部落問題研究 50 年の歩み』（部落問題研究所編、部落問題研究所出版部、1998.10.1）
- 『部落問題の教育史的研究』（部落問題研究所編、部落問題研究所出版部、1978.9.20）
- 『神戸権勢史』（本郷直彦著、発行、1913.5.20）
- 『部落差別に関する実態調査報告書』（三木市企画部人権推進課、2007.3）
- 『犯科帳』（森永種夫著、岩波書店、1962.1.24）
- 『流人と非人』（森永種夫著、岩波書店、1963.10.21）
- 『浄土真宗と部落寺院の展開』（和田幸司著、法蔵館発行、2007.2.20）
- 『インターネットで傷つけあう子どもたち』

ひょうご部落解放・人権研究所 2008 年度事業計画(概要報告)

本年4月5日に、当研究所の第38回定期総会が開催され、2008年度事業計画が承認されました。事業計画の概要を報告します。

I. 調査研究活動

1. 公募研究

昨年度から引き続きの2研究「篠山市川西・西誓寺文書の解読及びかわた村の生活とかわた株」(代表者:今井進)、「大正期から敗戦期における兵庫の融和政策・融和運動—兵庫県清和会を中心に」(代表者:八箇亮仁)に加え、今年度より新たに「上の島地区(旧高松)の前近代から現代までの歴史」(代表者:川面茂樹)、「兵庫におけるマイノリティ・コミュニティの総合的研究」(代表者 本郷浩二)の2研究を採用します。

2. 指定研究

「猪名川町・町民意識調査」の集計と分析・課題の研究を行う予定です。

3. 図書・資料、ホームページ

研究所に来所され、人権に関する学習や研究をされる方々にとって、「利用しやすい研究所」を目指して、2008年度も引き続き図書や資料の収集・整理に努めます。

ホームページはリニューアルして、研究所の事業を幅広く紹介するとともに、研究所のイベントや発行書籍をはじめ、関係団体のイベントなどの紹介もおこないます。

4. その他

他の諸団体が行う研究や実態調査等に協力や助言等を行います。

II. 研究会活動

1. 部落解放研究第29回兵庫県集会

内容のさらなる充実を目指すとともに、1月21日に行った第28回集会の総括会議で、

各実行委員から出された意見も踏まえ取り組みます。(11月16日[日]開催予定)

2. 人権セミナー

本年度も年4回(6月・8月・10月・12月)を予定し、公募研究の成果発表やさまざまな分野で活躍されている人権問題研究者の発表の場とするとともに、新しい研究者のネットワーク創りの場としていきます。また、広く一般の人も参加しやすい内容になるよう工夫します。

3. 人権問題講座

従来、年1回開催していたこの講座を、年2回の開催とし、8月と2月に開催を予定します。内容は時節に即した、出来るだけタイムリーなものを選ぶとともに、一般の人が参加しやすいように工夫し、多くの人の参加を目指します。

III. 啓発・広報活動

1. 講師の派遣

研究所に依頼のある人権に関する講演には、研究員等を講師として派遣するとともに、研究員以外でも可能な限り派遣依頼先の要望に応えるような人材を派遣できるよう努力します。また、他団体の実行委員会に参加するほか、昨年5月に開設された、「生活あんしんステーションHIMEJI—姫路ライフサポートセンター」(連合兵庫・兵庫労福協などで設立)の部落問題・人権問題の相談窓口の役割を担います。

2. 「研究所通信」の発行

事務局からのお知らせなど、気軽に読んで

もらえる広報紙を作成します。

3. その他

この他、他団体の人権関係のイベント等の協賛も積極的に行います。

IV. 出版活動

1. 機関誌『ひょうご部落解放』（夏・秋・冬・春の各号）の発行。
2. 『研究紀要』第15号の発行（2009年3月予定、内容は公募研究の成果物を予定）。

3. 『人権歴史マップー阪神版』の発行（2008年8月予定）。

V. 会員拡大と研究者のネットワーク創り

1. 集会・イベント等のあらゆる機会に会員加入を呼びかけ、拡大をめざします。
2. 研究者の拡大やネットワーク創りに努力するとともに、昨年度より再開した「人権問題報道者懇談会」や「部落解放・人権教育兵庫大学連絡会」の継続と内容の充実をめざします。

♪ 研究所のご近所さん ♪

『六丁目』

研究所から徒歩2分、元町商店街の6丁目側入り口を少し入ったところにあるのが、今回ご紹介するレストラン&カフェ『六丁目』。つい最近改装された店内は、お昼時になるといつも満席である。

このお店のこだわりは、なんといっても季節の野菜たちである。どのメニューにも旬の新鮮なお野菜がたっぷりと盛られて、ヘルシーで見栄えもとっても鮮やかなのだ。しかも、極めつけは『六丁目』オリジナルのドレッシング。毎朝、その日手に入った10種類以上もの野菜を使って手作りしているのだそう。玉ねぎ、セロリ、にんじん、大根、パプリカ、ピーマン、キャベツ、



カリフラワー、白菜、にんにく、ごま…。

ちなみに今日のランチメニューは、蒸し豚とプリプリ海物の天然ローズソルト仕立て、特製和牛こだわりハンバーグ、若鶏のパン粉焼カレーピネグレットソースなどなど。いつもお店に入る前に「え～、今日はどれにしよう(>_<)」と迷っちゃうのである。ランチ(850円～)には、これまたこだわりスープとこだわりごはんもつく。こだわりづくしだ。

研究所にお越しいただいた時には、ぜひどうぞ。
(ひ)

平日／ランチ	11:30～14:30
ディナー	17:30～22:00
土日	11:30～20:30
	※定休日…水曜日

〒650-0022 神戸市中央区元町通6-7-4
TEL&FAX: 078-371-5171

事務局から

○研究所の事務局長に就任して、2年近くになりました。研究所らしい事業の拡大と研究者の協働ネット創りに全力投球です。(竹本貞雄)

○近所に住むママ友だちに誘われ、東方神起という韓国アイドルグループのコンサートへ。満員の大阪城ホールに、「韓流」はまだ健在であることを実感。(K)

○コトバには速度があるのだという。「消費され

る情報のコトバ」に埋もれる日々の中、「カラダの速度」のコトバを大切にしたいと思う。(H)

○図書整理など担当しています。なかなかかかどらず、ご迷惑をおかけしています。少しでも使い易くなるよう精進いたします。(kama)

○研究所2年目、まだまだ勉強中です。チャームポイントは鼻の下のほくろです。ぜひとも研究所に遊びに来てください♪(ひ)

4.24 阪神教育闘争記念碑を建てる会 第2回総会と阪神教育闘争60周年記念講演会

—4.24 教育闘争 神戸地方裁判所での裁判（C級）の判決文の分析—



1948年10月に朝聯東京中部支部が発行した「阪神教育闘争記録画報」

1948年4月24日、「朝鮮学校閉鎖令」を大衆的な力で撤回させ勝利したものの、GHQは唯一の「非常事態宣言」を発令し、大弾圧を加えました。逮捕された人たちはA級（軍事委員会裁判－9名）、B級（一般軍事裁判－12名）、C級（神戸地方裁判所－18名）の裁判にかけられました。辛恩英さんに、C級判決文をもとに、日本で初めての分析結果の発表をしていただきます。

<講師紹介>

辛恩英(シン ウニョン)さん

- ・日韓近現代史研究家
- ・ソウル市在住
- ・日本留学中に文学博士号取得
- ・慶尚南道鎮海市出身

- とき:2008年4月20日(日) 14:30～
(「4.24 阪神教育闘争記念碑を建てる会」総会は13:30～)
- ところ:ピフレ会議室(JR新長田駅南側)
(ピフレホール TEL:078-621-1120)
- 資料代:500円

○問合せ先:

4.24 阪神教育闘争記念碑を建てる会

〒657-0064

神戸市灘区山田町3-3-1 神戸学生青年センター内

TEL:090-8539-0473 (事務局:池田)

FAX:078-736-2007

Mail:chegi@alto.ocn.ne.jp

沖縄から『平和』の発信

第11回 平和・人権・環境を考える集い

「集い」のメインテーマは「平和」。記念講演では沖縄で反戦・平和闘争をたたかう仲間から問題提議をいただきます。「歴史教科書改ざん反対」や「米兵の少女暴行糾弾」の実践を通して、日本の平和について私たち一人ひとりが考える場とします。

- 開催日時 2008年6月7日(土)
12時30分開会 16時30分終了
- 参加費 無料です。
どなたでも気軽に参加ください。
- 会場 のじぎく会館
神戸市中央区山本通4-22-15
TEL:078-242-5355
- 主催 自治労兵庫県本部
神戸市中央区北長狭通5-5-22
TEL:078-341-1080/FAX:078-341-1090

○当日のプログラム

- 開会 12:30
- 記念講演 12:45
「沖縄の平和を守るたたかいに学ぶ」
- 各種催し 14:30
- 閉会 16:30

○催しもたくさん

- パネル展示
写真展、放置駐輪問題、戦争と水など
- 分科会
「食の安全を考える」
- 販売
環境にやさしい洗剤、コーヒー、わたがしなど

ひょうご部落解放・人権研究所 人権セミナー

2007年度公募研究

「部落解放教育をめぐるエトスの研究」

(代表研究者: 笹倉千佳弘さん)より報告予定(テーマ未定)

○日時 2008年6月21日(土) 午後2時～

○場所 (社) ひょうご部落解放・人権研究所会議室

〒650-0022

神戸市中央区元町通6丁目7-10

元町関西ビル4階

(元町商店街西側入口山側のビル)

○参加費 無料

○問い合わせ (社) ひょうご部落解放・人権研究所

TEL:078-367-8925/FAX:078-367-8925

○●○緊急大募集～ (>__<) ○●○

『研究所通信』という紙名だけでは面白くないので、副題を皆様から募集することにいたしました!

というわけで、次号からは『ひょうご部落解放・人権研究所通信 副題』という紙名にしたいと思います。どんなものでもかまいません。採用させていただいた方には記念品を進呈。電話、FAX、Eメールなどで、2008年6月30日までに、研究所へご応募ください。

お待ちしております♪